

ワークショップ（要旨）

【テーマ】

10年後の理想的な暮らしに向けての工夫と提案

【目的】

10年後の理想的な暮らしや消費とは何か、それに近づくために今、何をすべきか、自分たちがすることはできないか等について、ワークショップを通じて皆でアイデアを出し合い、共有すること。

また、ワークショップでの話や成果を各自の現場に持ち帰り、今日からできる各自の取組の一助とするともに、地域や各種団体、企業におけるアイデア出しの手法として活用してもらいたい。

【ファシリテーター】

中野 民夫

（東京工業大学リーダーシップ教育院・

リベラルアーツ研究教育院教授）



【参加者】

民間事業者、消費者団体関係者、行政関係者、学生など全 24 チーム。

【ワークショップ手順】

○用意するもの

- ・ えんたくん
- ・ えんたくん用模造紙
- ・ サインペン

○ワークショップでの基本ルール

- ・ 積極的に参加すること
- ・ 人の話をよく聞くこと
- ・ グループワークの側面も意識すること

○ワークショップの進め方

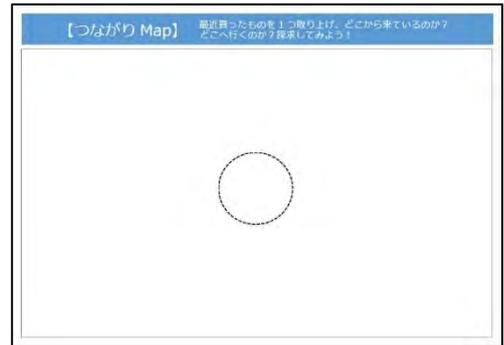
- ①自己紹介・最初にお互いの自己紹介を行う。
（今回は「自己紹介シート」活用して実施）



【自己紹介シート】ホグループの機会をに、4つの問いにキーワードで答えてください！	
1 お名前とお住まい（ざっくり場合でお願います）	2 貴校、お仕事でこの活動は行われていますか？
3 シンポジウムに参加ご希望について	4 最近買った好きなもの！（1〜3コ）

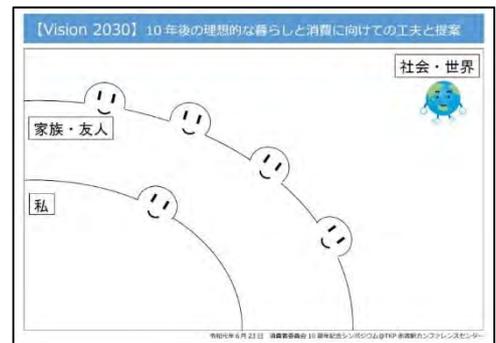
②えんたくんでワールドカフェ

- ・【ワークその1】消費や暮らしの現状について。
消費生活や暮らしの現状、疑問等についてえんたくんに自由に書き込む
- ・【ワークその2】理想的な暮らしや消費生活とは。
ワークその1での課題や疑問を踏まえ、理想の暮らし、理想の消費生活とは何かを考える。
- ・【ワークその3】理想的な未来への道
ワークその1、その2を踏まえ、10年後の理想的な暮らしと消費に向けて、各々が
できること、取り組むこと等について考える。



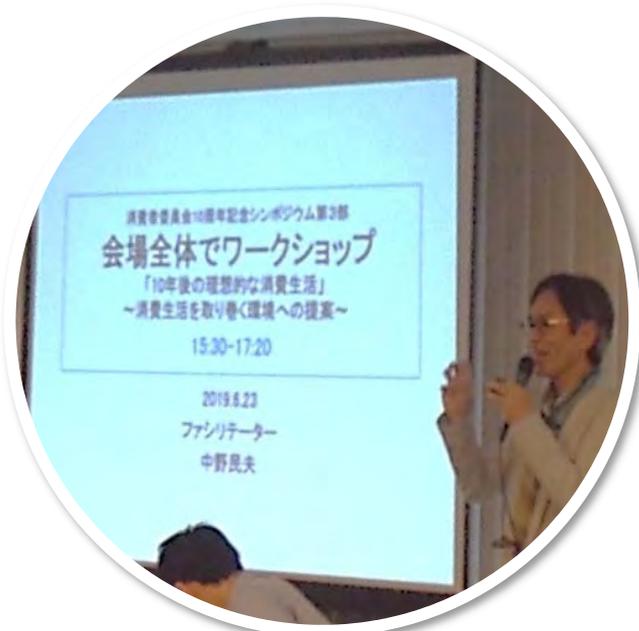
③まとめのワーク

- ・②を踏まえ、各自でVision2030（個人ワークシート）を作成。
- ・各自が作成したVision2030について、ホームグループ内等で共有。その後、会場後方貼り出しを行い、会場全体で共有する。



写真で見る第3部 会場全体でワークショップ

第1部での基調講演、第2部でのパネルディスカッションを踏まえ、10年後の理想的な暮らし方や消費とはどういったものなのか、それに近づくためにはどうしたらいいのか、何ができるのかなどについて、グループワークを通してそれぞれが「自分事」として考え、その成果を会場全体で共有しました。



「ワールドカフェ」とは？

- ワールド・カフェとは、くつろいだ雰囲気の中で、組織や地域や社会の変革に向け、大切な問いについて、全員参加で話し合う対話の方法。
- 小グループでの会話を、何度か席替えしながら、積み重ね、全体の探求につなげていく。
- 90年代アメリカから世界中で実践されており、日本でも急速に広まった。

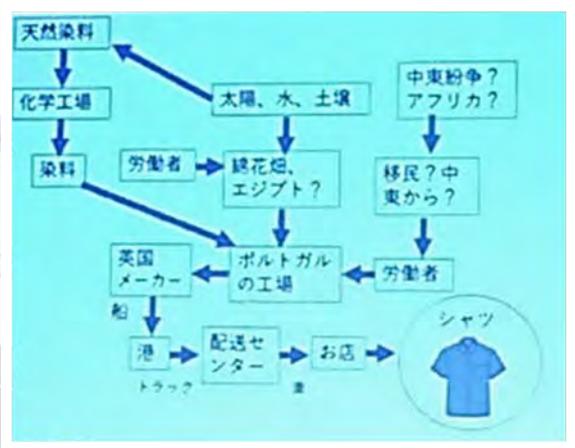
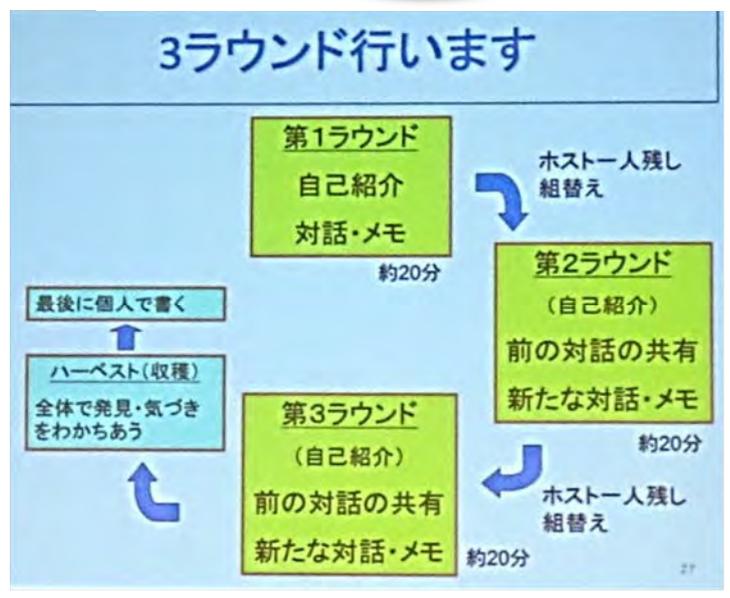
ワールドカフェ

カフェの前提

- 私たちに必要な知恵は、既にこの部屋の中にある。
- その知恵は見出されるのを待っている。
- それは人と人がうまく関係しあったときに現れる。

カフェの前提

1. 各自の経験が重要である
2. アイデアを共有する
3. 中絶にある時に目を覚ます
4. 深いリサーチと実践に基づく



まずは自分の消費がどこからきているのか、そもそものルーツを辿ってみることにスタート。



① まずは自己紹介

第1ラウンドの問い

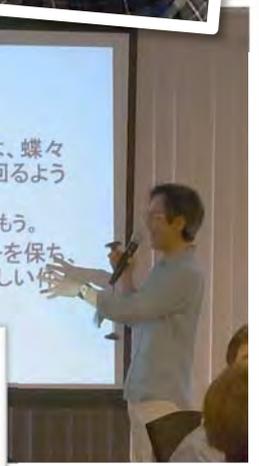
•最近、とって満足した買い物はなあに？

- どうして満足できたのだろう？
- それぞれの話をシェアした後、何か共通点があるか探してみよう。



席替えしま～す。

- 一人だけ残る人(ホスト)以外は、蝶々が新しい花の蜜を求めて飛び回るように、自由に席替えしましょう。
 - せっかくなので、知らない人と組もう。
- ホストは、えんたくんやマーカーを保ち、前のグループで話したことを新しい仲間伝えるので、心の準備を。



← 席替え中

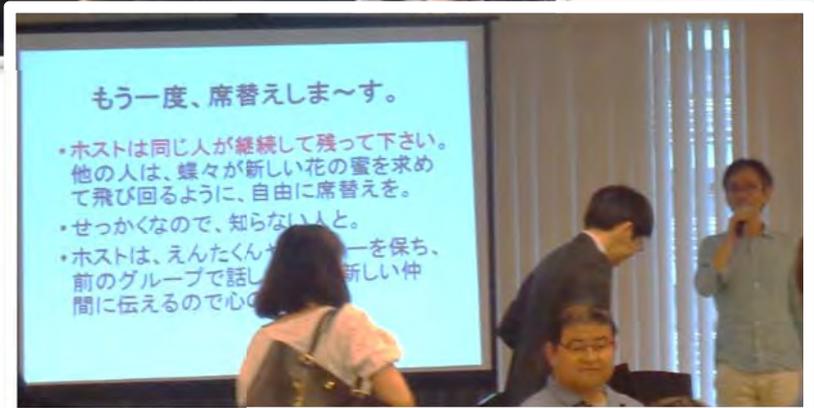


留意点<確認！>

- 短く話そう
 - 多くの人が話せるように！名演説家、注意！
- よく聴こう
 - 正解を競う議論ではなく、共に発見する創造的な対話を！
- 書いて見える化を
 - マーカーでどんだんメモ (話す人の左隣の人が主に書いてみよう！)
 - えんたくんは、隣寄せ合ってきちんと聞もう。
 - えんたくんの上は、すべて片付けて広く使おう。

もう一度、席替えしま～す。

- ホストは同じ人が継続して残って下さい。他の人は、蝶々が新しい花の蜜を求めて飛び回るように、自由に席替えを。
- せっかくなので、知らない人と。
- ホストは、えんたくんやマーカーを保ち、前のグループで話したことを新しい仲間伝えるので心の準備を。



第2ラウンドへ

- ホストは、口火を切って簡単な顔合わせ(自己紹介)を回して。4人で1分位。
 - 「自己紹介シート」は見せるだけ。4つ全部話す時間はありません。
- 一巡したら、ホストは目の前に書いてあるものを指し示しながら、前のグループの話を要約して紹介してください。
- ここまで3-4分で切り上げ、次の問いへ。





第3ラウンドの問い

- 持続可能な社会に向けて、10年後の2030年には、どんな生き方・暮らし方をしたいですか？
 - その時、消費や購買はどうなってる？
 - そこに向けての自分の工夫や、社会・行政への提案は？



まとめのワーク【Vision 2030】

- 10年後の理想的な生き方・暮らし方は？その時の消費は？自分なりの工夫と提案を、
- 3つのレベル、①私のこと、②身近な家族や友人、③社会・世界、に分けて、
- ワークシートにまとめて書き込んでみよう。
 - 後で全員のシートを壁に貼ります。見やすいように、マーカーもうまく使ってください。
 - 作業時間の目安は5分です。

📌 まとめワーク Vision2030 全員分のワークシートを会場後方の壁に貼り出しました

